

余丁校通信



8・9月の生活目標

決まりを守って安全に過ごそう。

ミライの形

校長 佐藤 郁子

少し前、若者の離職率の高さが話題になりました。令和6年10月に厚労省が学歴別就職後3年以内離職率の推移を発表したのです。これによると、令和3年度の大卒で就職3年以内に離職したのは、34.9%で、ここ10年で一番高い数字になったというのです。折しも、退職代行等も話題となり、「嫌なら辞めればいい」風潮なのでは、という懸念も示されていました。しかし、この調査を改めてよく見てみると、大卒で一番離職率が高かったのは、今から約20年前の平成16年度卒の36.6%なのです。当時はいわゆる就職氷河期で、大卒の就職率は55.8%の時代でした。それに比べ、令和6年度卒の就職率は95.8%。同じ「離職」でも、理由や背景には大きな違いがありそうです。

令和6年度は、いわゆる「売り手市場」です。離職理由も「よりよい条件」や「自分に合った職場」を追い求める声が一定数あると言います。

約10年前、2016年に米在住のジャーナリストが教育雑誌に「これからの時代に求められるのは、『人生設計力』である」という文章を書いていました。これからの時代においては、

① 動機付けは高いが実現性の少ない「夢」と
② 動機付けは低いが実現性の高い「現実」の
人生設計をダブルでもつような甘い考えは許されない、職業選択であれば、歯を食いしばってでも実現する努力が必要である。また、反対に実現可能性から選択した場合でも、高い動機付けを自分のものにしなければ道は開かれないことを知るべきだと述べていました。そして、それこそが「進路」や「進学」ではない「人生設計力」であると。それから数年後、大リーグでの大谷翔平選手の活躍が脚光を浴び、マンダラチャートを活用し、夢の実現に向け、努力している姿に、先のジャーナリストのいう①の実現を目の当たりにした思いでした。

②を選択した場合も、自分で目標設定をし、努力していくことで、次のステージへと進みます。

さて、長い夏休みが終わりました。少しでも自分の決めたことに向かって努力できたでしょうか。小さな積み重ねが、皆さんの明日を、そして未来を形にしていきます。

河口湖移動教室について

6年担任

暑い夏休みが終わって、一週間後には河口湖移動教室があります。1学期から、事前学習も進めてきました。

河口湖への移動教室は、余丁町小学校として初めての場所です。日ごろ体験できない活動の中で、富士山周辺の自然に触れ、多くのことを学んでほしいと考えています。また、6年生にとっては2回目の移動教室です。「協力・感謝・見通しをもった行動・学び」を意識した移動教室になるよう準備していきます。

クラブ活動について

特別活動担当

クラブ活動の時間では6年生が中心となり、4～6年生がそれぞれ所属しているクラブで活動しています。子どもたちが自分たちで1年間の活動内容を計画し、実施しています。

活動の様子を見ていると、6年生が4・5年生をしっかりとリードしている様子が見られます。5年生も6年生の補助をしたり、仕事分担をしっかりと務めたりしているので、教員は一步引いたところからしっかりと異学年交流ができるように声掛けや環境の設定など補助をしていきたいと考えています。

学校公開のお知らせ

学校公開担当

子どもたちの学校生活の様子を保護者や地域の皆様に公開いたします。本校の教育内容についてご覧いただき、ご理解をいただく機会となれば幸いです。

【日程】9月18日(木)～9月20日(土)〔3日間〕

【時間】3日間とも午前中のみ公開(受付8:25～)

※9月20日(土)4校時に6年生と保護者向けの道徳講座、5校時は引き渡し訓練があります。

20日(土)は3校時までの公開です。

※参観人数や時間の制限はありません。

※午後の授業時数により各学年の下校時刻が変わります。

※授業内容につきましては、後日すぐ一斉配信される『学校公開のお知らせ』をご参照ください。